

2007年3月期
決算説明資料

2007年5月8日

旭化成株式会社

1. 2007年3月期実績

主要決算数値	P4～P5
連結損益計算書	P6
金融収支・有利子負債残高	P7
特別損益	P8
連結貸借対照表	P9
連結キャッシュ・フロー計算書	P10
設備投資額、減価償却費、研究開発費	
セグメント別売上高・営業利益	P11～P14

2. 2008年3月期業績予想

当期の業績予想	P16
セグメント別売上高・営業利益	P17～P18

3. 参考資料

セグメント別概況	P20～P27
セグメント別設備投資額、 減価償却費、研究開発費	P28～P29
主要関係会社概況	P30
ホームズ参考資料	P31～P34
ファーマ参考資料	P35～P37

1. 2007年3月期実績

主要決算数値(1)

	06/3	07/3		対前年度 (b-a)		対前回予想 (b-c)	
	a	実績 b	前回予想 c	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	14,986 億円	16,238 億円	16,170 億円	1,252 億円	8.4 %	68 億円	0.4 %
営業利益	1,087	1,278	1,250	191	17.5	28	2.2
経常利益	1,042	1,265	1,210	223	21.4	55	4.6
当期純利益	597	686	680	89	14.9	6	0.8

	06/3	07/3	増減
総資産	13,760 億円	14,599 億円	839 億円
自己資本*	5,942	6,457	514
有利子負債残高	2,358	2,169	-189
D/Eレシオ	0.40	0.34	-0.06

* 06年3月末の自己資本は、会社法施行前の資本の部を記載。07年3月末の自己資本は、株主資本に評価・換算差額等を加えたものを記載。

主要決算数値(2)

	06/3	07/3
一株当たり当期利益(EPS)	42.46 円	49.00 円
一株当たり年間配当金	10 円	12 円
配当性向	23.6 %	24.5 %
総資産利益率(ROA)	4.5 %	4.8 %
自己資本利益率(ROE)	10.8 %	11.1 %
一株当たり純資産(BPS)	424.34 円	461.50 円

<連結対象範囲>

連結子会社数	105	111
持分法適用会社数	55	53

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	42,350	49,950
為替レート(相場平均:¥/US\$)	113	117

期末人員	23,030 人	23,715 人
------	----------	----------

連結損益計算書

(上段:百分率、% 下段:金額、単位億円)

	06/3	07/3	増減	増減率(%)
売上高	100.0% 14,986	100.0% 16,238	1,252	8.4
売上原価	75.2% 11,275	75.4% 12,240	965	8.6
売上総利益	24.8% 3,711	24.6% 3,998	287	7.7
販管費	17.5% 2,624	16.7% 2,719	96	3.7
営業利益	7.3% 1,087	7.9% 1,278	191	17.5
営業外損益 (内、金融収支) (内、持分法投資損益)	-46 (-11) (5)	-13 (-12) (26)	33 (-1) (21)	
経常利益	7.0% 1,042	7.8% 1,265	223	21.4
特別損益	-97	-116	-19	
税前利益	6.3% 945	7.1% 1,149	204	21.6
法人税等 少数株主損益	-345 -3	-458 -5	-113 -2	
当期純利益	4.0% 597	4.2% 686	89	14.9

金融収支・有利子負債残高

(1) 金融収支

(億円)

	06/3	07/3	増減
支払利息	-36	-41	-5
受取利息	4	5	1
受取配当金	22	25	3
その他	-2	-1	1
合計	-11	-12	-1

(2) 有利子負債残高

(億円)

	06/3	07/3	増減
短期借入金	562	638	76
長期借入金	723	691	-32
社債	1,070	840	-230
その他	3	—	-3
合計	2,358	2,169	-189

特別損益

(億円)

	06/3	07/3	増減
投資有価証券売却益	—	15	15
固定資産売却益	57	9	-48
貸倒引当金戻入益	2	—	-2
持分変動利益	—	7	7
特別利益	59	31	-28
投資有価証券売却損	9	—	-9
投資有価証券評価損	7	7	-0
固定資産処分損	70	91	20
減損損失	38	2	-36
構造改善費用	32	48	16
特別損失	156	147	-9
特別損益	-97	-116	-19

連結貸借対照表

(億円)

	06/3月末	07/3月末	増減		06/3月末	07/3月末	増減
流動資産	6,442	7,230	788	負債	7,749	8,064	315
現金及び預金	864	1,015	151	流動負債	4,397	5,036	638
受取手形及び売掛金	2,695	3,004	309	固定負債	3,352	3,028	-324
棚卸資産	2,141	2,400	259	少数株主持分	69		
その他	742	811	69	資本	5,942		
固定資産	7,319	7,369	51	資本金	1,034		
有形固定資産	4,144	4,270	126	資本剰余金	794		
無形固定資産	331	285	-46	利益剰余金	3,424		
投資その他の資産	2,844	2,815	-29	その他有価証券評価差額金等	863		
				自己株式	-173		
				負債・少持・資本合計	13,760		
				純資産		6,535	
				株主資本		5,618	
				資本金		1,034	
				資本剰余金		794	
				利益剰余金		3,805	
				自己株式		-15	
				評価・換算差額等		839	
				少数株主持分		79	
資産合計	13,760	14,599	839	負債純資産合計		14,599	

連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(1) 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	06/3	07/3
営業活動によるキャッシュ・フロー①	1,086	1,284
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-604	-813
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	482	471
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-309	-360
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	4	6
現金及び現金同等物の増加額⑥(③+④+⑤)	178	117
現金及び現金同等物の期首残高⑦	685	864
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	1	36
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	864	1,017

(2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	06/3	07/3
設備投資額(有形)	591	788
設備投資額(無形)	72	56
減価償却費	694	716
研究開発費	515	524

セグメント別売上高・営業利益(1)

(億円)

	売上高			営業利益		
	06/3	07/3	増減	06/3	07/3	増減
ケミカルズ	6,604	7,526	922	405	520	115
ライフ&リビング	519	526	6	48	46	-2
ホームズ	4,045	4,057	12	282	275	-7
ファーマ	1,058	1,045	-14	111	139	28
せんい	897	1,066	169	40	42	1
エレクトロニクス	1,029	1,121	92	193	226	33
建材	565	608	43	38	50	12
サービス・エンジニアリング等	268	289	21	33	39	6
消去又は全社	-	-	-	-63	-58	5
合計	14,986	16,238	1,252	1,087	1,278	191

セグメント別売上高・営業利益(2)(海外売上高)

(億円)

	06/3			07/3			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率(%)		金額	比率(%)	金額	伸び率(%)
ケミカルズ	6,604	2,818	42.7	7,526	3,121	41.5	302	10.7
ライフ&リビング	519	49	9.4	526	51	9.7	2	3.9
ホームズ	4,045	-	-	4,057	-	-	-	-
ファーマ	1,058	217	20.5	1,045	255	24.5	39	17.8
せんい	897	233	26.0	1,066	335	31.4	102	43.5
エレクトロニクス	1,029	392	38.1	1,121	470	42.0	78	20.0
建材	565	-	-	608	-	-	-	-
サービス・エンジニアリング等	268	23	8.4	289	48	16.7	26	114.2
合計	14,986	3,732	24.9	16,238	4,280	26.4	549	14.7
東アジア地域*への売上高		2,224	14.8		2,453	15.1	229	10.3

<参考>

ホームズ・建材を除いた売上高 10,376 3,732 36.0 11,573 4,280 37.0

* 中国(香港を含む)、韓国、台湾

セグメント別売上高増減要因

(億円)

	06/3	07/3	数量差	売値差	うち為替因	その他差	計
ケミカルズ	6,604	7,526	311	574	52	38	922
ライフ&リビング	519	526	6	0	0	0	6
ホームズ	4,045	4,057	-95	153	-	-46	12
ファーマ	1,058	1,045	12	-57	6	31	-14
せんい	897	1,066	50	11	7	109	169
エレクトロニクス	1,029	1,121	202	-110	8	0	92
建材	565	608	31	12	-	0	43
サービス・エンジニアリング等	268	289	21	0	0	0	21
合計	14,986	16,238	537	583	73	132	1,252

セグメント別営業利益増減要因

(億円)

	06/3	07/3	数量差	売値差	うち為替因	コスト差等	計
ケミカルズ	405	520	46	574	52	-505	115
ライフ&リビング	48	46	4	0	0	-6	-2
ホームズ	282	275	-29	153	-	-131	-7
ファーマ	111	139	36	-57	6	50	28
せんい	40	42	11	11	7	-20	1
エレクトロニクス	193	226	99	-110	8	44	33
建材	38	50	7	12	-	-7	12
サービス・エンジニアリング等	33	39	11	0	0	-5	6
消去又は全社	-63	-58	-	-	-	5	5
合計	1,087	1,278	183	583	73	-575	191

2. 2008年3月期業績予想

当期の業績予想

(億円)

	06/3	07/3			08/3(予)			増減 b-a
		上	下	計a	上	下	計b	
売上高	14,986	7,689	8,549	16,238	8,020	8,800	16,820	582
営業利益*	1,087	507	771	1,278	500	760	1,260	-18
経常利益	1,042	488	777	1,265	495	740	1,235	-30
当期純利益	597	290	396	686	255	445	700	14

ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	42,350	51,450	48,450	49,950	55,000	55,000	55,000	5,050
為替レート(相場平均¥/\$)	113	115	119	117	115	115	115	-2

	06/3	07/3	08/3
1株当たり年間配当金	10円	12円	13円 (予定)
配当性向	23.6%	24.5%	26.0%

* 2008年3月期は、減価償却制度の改正による、47億円の営業利益の押し下げの影響を含む

セグメント別売上高

(億円)

	07/3			08/3(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカルズ*	3,942	4,110	8,052	4,210	4,100	8,310	258
ホームズ	1,691	2,366	4,057	1,690	2,410	4,100	43
ファーマ	511	534	1,045	540	550	1,090	45
せんい	506	560	1,066	550	600	1,150	84
エレクトロニクス	564	557	1,121	580	650	1,230	109
建材	306	302	608	310	320	630	22
サービス・エンジニアリング等	169	120	289	140	170	310	21
合 計	7,689	8,549	16,238	8,020	8,800	16,820	582

* 07年3月期の数字は、2007年4月のケミカルズとライフ&リビングの統合に伴い、両セグメントの合算数値を記載。

セグメント別営業利益

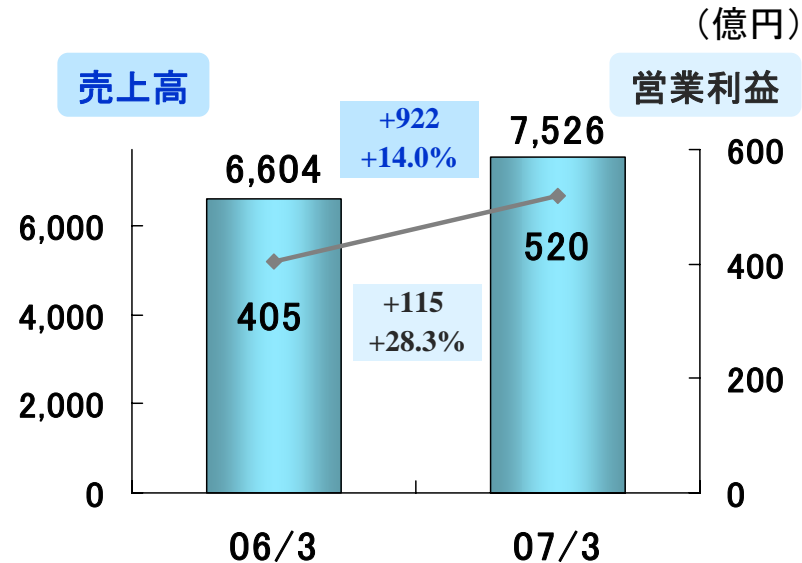
(億円)

	07/3			08/3(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカルズ*	228	338	566	275	290	565	-1
ホームズ	54	221	275	50	240	290	15
ファーマ	72	67	139	55	60	115	-24
せんい	13	29	42	20	35	55	13
エレクトロニクス	124	103	226	105	130	235	9
建材	25	25	50	25	30	55	5
サービス・エンジニアリング等	23	15	39	20	20	40	1
消去又は全社	-32	-26	-58	-50	-45	-95	-37
合 計	507	771	1,278	500	760	1,260	-18

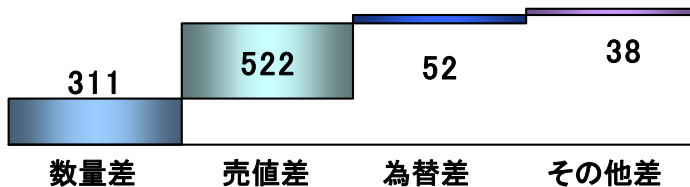
* 07年3月期の数字は、2007年4月のケミカルズとライフ&リビングの統合に伴い、両セグメントの合算数値を記載。

3. 参考資料

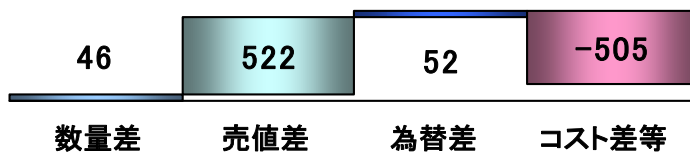
ケミカルズ概況(1)



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

汎用事業は急激な原燃料価格高騰によるコスト上昇分価格改定に努め、高付加価値系事業は販売数量の増などにより、前期比増収、増益となった。

・汎用事業

原燃料価格高騰の影響を受けたものの、製品価格の改定に努めたことや海外における旺盛な需要を背景に前期比増収、増益となった。

<モノマー系事業>

需給が逼迫し価格が急上昇したアジピン酸を始め、海外需要が堅調に推移したアクリロニトリルやスチレンモノマーがなどを中心に、前期比増収、増益となった。

<ポリマー系事業>

ナイロン66樹脂及び繊維「レオナTM」などが堅調に推移し、前期比増収、増益となった。

・高付加価値系事業

リチウムイオン2次電池用微多孔膜「ハイポアTM」が販売数量を伸ばし、中国向けイオン交換膜法食塩電解プラントの輸出、イオン交換膜の販売量が増加し、前期比増収、増益となった。

ケミカルズ概況(2)

高付加価値系事業の業績

(億円)

	06/3		07/3	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ケミカルズ計	6,604	405	7,526	520
内、高付加価値系事業	1,178	188	1,313	205

※上記高付加価値系事業の業績数値は参考情報として簡便計算で算出したものです。

<トピックス>

- ・高機能化粧品原料「ペリセア™」を販売開始(5月)
- ・オメガプロセスによるプロピレン生産開始(6月)
- ・新発電会社、旭化成エヌエスエネルギー(株)の営業開始(7月)
- ・ダウ・ケミカル社へのポリスチレン共同出資会社の持分譲渡について合意(8月)
- ・リチウムイオン2次電池用微多孔膜「ハイポア™」製造設備増設、稼働開始(10月)
- ・N₂O(一酸化二窒素)分解除去技術で地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞(11月)
- ・水島地区における石油残渣物を利用した省エネルギー事業計画がNEDO*の支援対象事業として採択(12月)
- ・中国での精密ろ過膜「マイクロザ™」組立製造設備新設、稼働開始(12月)
- ・精密ろ過膜「マイクロザ™」米国最大級規模の浄水場設備への採用決定(1月)
- ・チッソ(株)との肥料事業統合(1月)
- ・韓国子会社、東西石油化学(株)でのプロパン法アクリロニトリル実証運転開始(1月)
- ・旧式のスチレンモノマープラント(生産能力15万t/年)の停止を発表(2月、07年10月停止予定)
- ・食塩電解プロセス用イオン交換膜生産能力増強を決定(2月、08年6月完工予定)

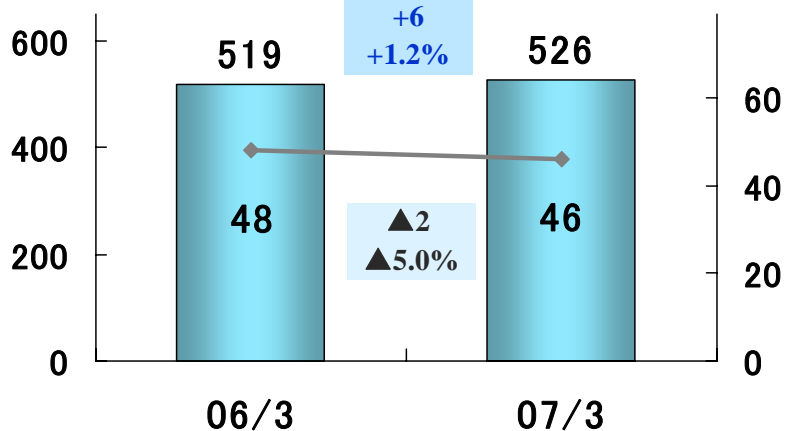
*NEDO:独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

ライフ&リビング概況

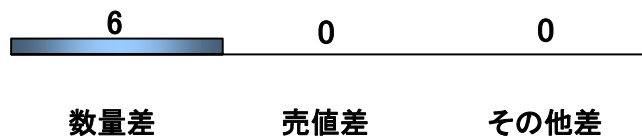
(億円)

売上高

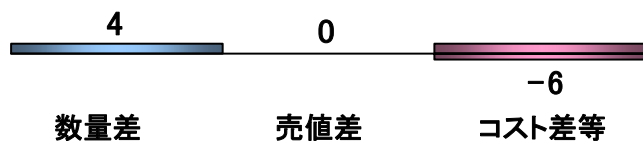
営業利益



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

・ホームプロダクツ事業

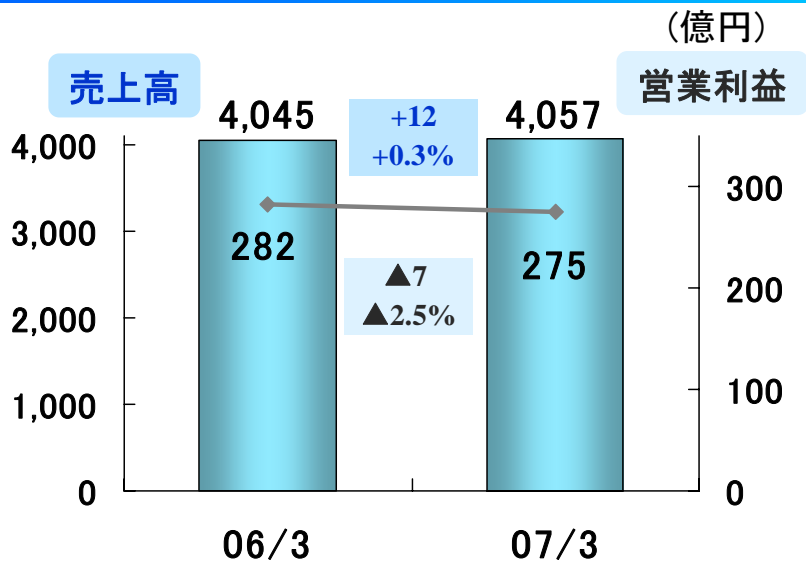
「サランラップ[®]」や「サラン[™]繊維」の販売量が増加し、前年比増収となったものの、原燃料及び包装資材高騰の影響と広告宣伝費の増加などにより、前期比減益となった。

・パッケージング事業

前期並の売上を確保したものの、原燃料価格高騰の影響を強く受け、前期比減益となった。

<トピックス>

- ・東北、四国地方限定パッケージの「サランラップ[®]」を発売(7月)
- ・「クックパー[™] 煮もの・煮こみすっきりシート」を新発売(9月)
- ・東北、四国地方限定パッケージ第2弾の「サランラップ[®]」を発売(12月)
- ・ケミカルズとの統合(07年4月)



事業別差異分析

	06/3(a)		07/3(b)		差異(b-a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負(A)	3,194	/	3,176	/	-19	/
分譲(B)	336		289		-46	
小計(A+B=C)	3,530	243	3,465	223	-65	-20
住宅周辺他(D)	515	39	592	52	77	13
合計(C+D)	4,045	282	4,057	275	12	-7

※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出したものです。

<概況>

リフォーム・不動産などの住宅周辺事業は好調に推移したものの、建築請負・分譲事業で引き渡し戸数が減少し、前期比増収、減益となった。

・建築請負・分譲事業

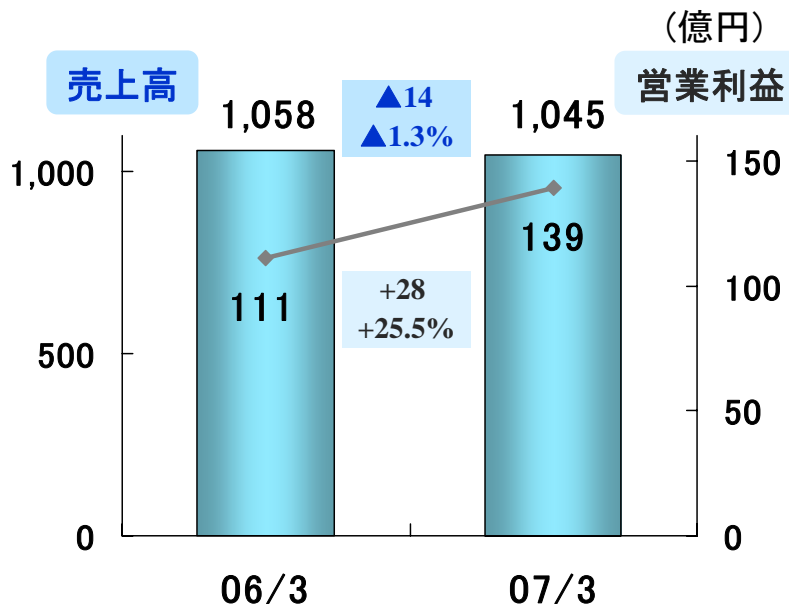
- ・建築請負単価が上昇したものの、戸建住宅や分譲マンションの引き渡し戸数減少の影響を受け、前期比減収、減益となった。
- ・建築請負事業の受注は、第2四半期以降、全体の環境が厳しいこと、特に都市部の土地価格上昇に伴う一次取得者層の受注が減少したことなどにより、前年比3.2%の減となった。

・住宅周辺事業(リフォーム、不動産など)

既存物件のリフレッシュ工事が好調だったリフォーム事業や賃貸管理戸数を順調に増やした不動産事業を中心に業績を伸ばし、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・旭化成ホームズ(株)、住友林業(株)、三井ホーム(株)の3社で、住宅部資材の共同購買開始(8月)
- ・新商品の上市
 - 都市の限られた敷地の中で“緑をまとう”住まいロングライフ住宅「ヘーベルハウス™ Green+(グリーンプラス)」(9月)
 - 団塊世代をターゲットにしたロングライフ住宅「ヘーベルハウス™ LUFT(ルフト)」(1月)
- ・旭化成ホームズ住宅総合技術研究所着工開始(11月、07年10月完工予定)
- ・30年以上の耐久性を実現した、新開発のシーリング剤と塗料による「ロングライフコート」の導入開始(3月)



<概況>

・医薬事業

薬価改定の影響に加え、医薬中間体の販売減により前期比減収となったが、ローキナーゼ阻害剤「塩酸ファスジル」のライセンス供与などにより、前期比増益となった。

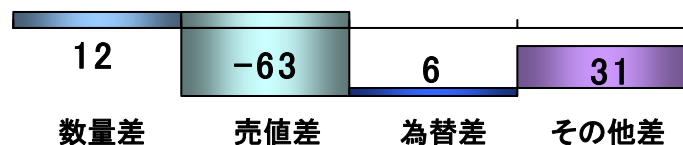
・医療事業

生産能力を強化したポリスルホン膜人工腎臓「APS™」や、ウィルス除去フィルター「プラノバ™」が販売量を伸ばしたことや、固定費削減に努めたことなどから、前期比増収、増益となった。

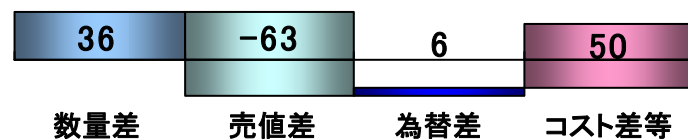
<トピックス>

- ・中国でのポリスルホン膜人工腎臓組立工場の増設を決定(4月、07年5月完工予定)
- ・米・コセリックス社とローキナーゼ阻害剤「塩酸ファスジル」の経口剤及び吸入剤のライセンス契約を締結(6月)
- ・抗血液凝固剤「ART-123」の国内製造販売承認申請及び海外導出(9月)
- ・ウィルス除去フィルター「プラノバ™」の組立工場増設(10月着工、07/10月完工予定)
- ・クラレメディカル(株)との透析事業などの統合について基本合意(12月、07年10月統合予定)
- ・名古屋医薬工場竣工(2月)
- ・エーザイ(株)とローキナーゼ阻害剤「塩酸ファスジル(エリル®)」の韓国におけるライセンス契約を締結(3月)

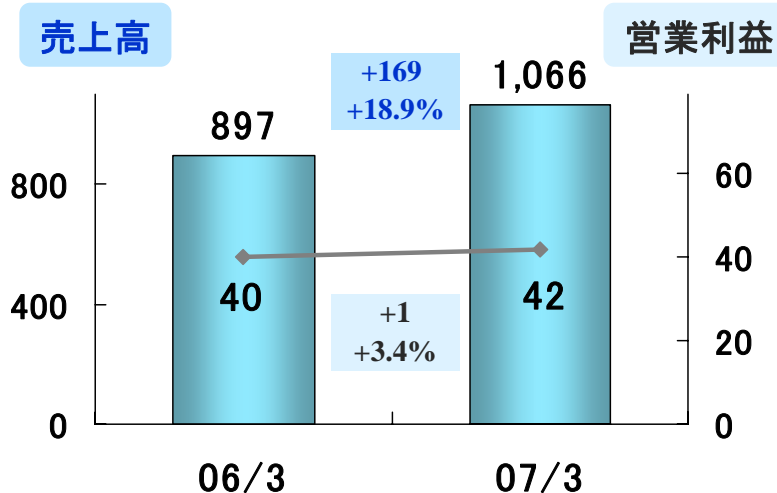
売上高増減分析



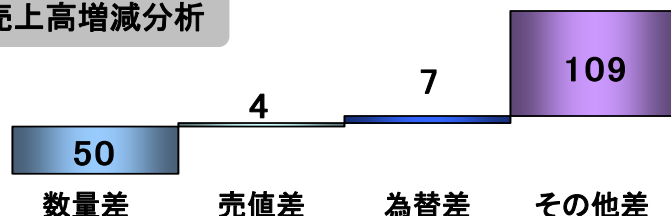
営業利益増減分析



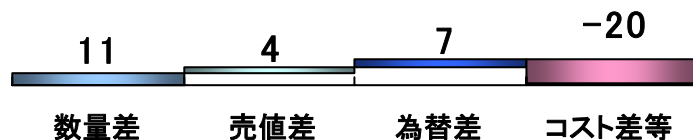
(億円)



売上高増減分析



営業利益増減分析



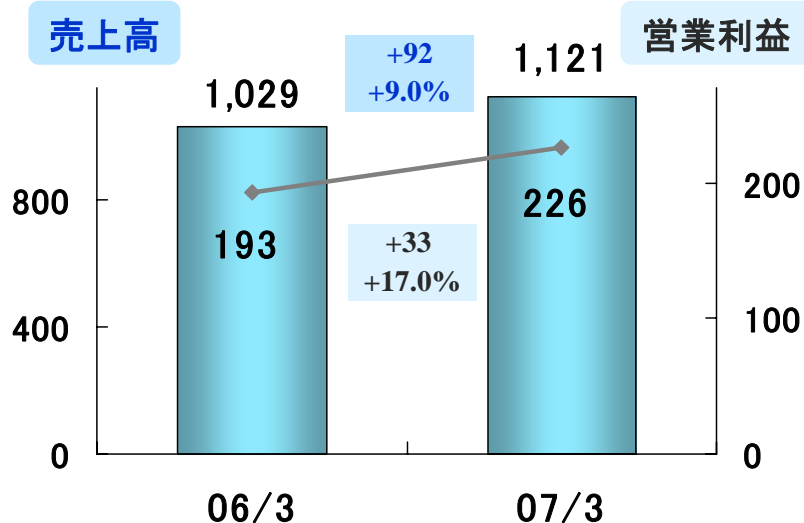
<概況>

- ・ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」は、販売量の増加と市況改善の影響や、ランクセス・グループから買収した欧米の「ドルラスタン™」事業が売上に寄与したことから、前年比増収となった。しかし、「ドルラスタン™」事業が赤字であったことから、前期比減益となった。
- ・セルロース繊維「ベンベルグ™」は海外向け販売が好調に推移し、前期比増収、増益となった。
- ・不織布事業は、原燃料価格高騰の影響を強く受けたものの、人工皮革「ラムース」がカーシート分野を中心に販売量を伸ばしたことから、前期比増収、増益となった。

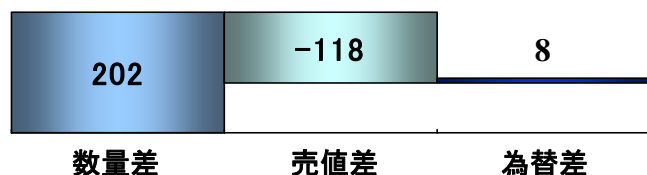
<トピックス>

- ・新不織布「プレシゼ™」の上市、専用設備の建設に着手(8月)
- ・「ロイカ™」第8のサブブランド系として、熱合着性に優れた「ロイカ™SF」を上市(2月)
- ・中国ファッションデザイナークリエイティブ大賞を創設(3月)

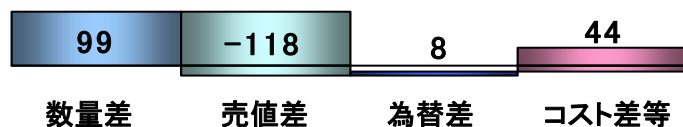
(億円)



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

・電子部品事業

携帯電話やデジタル家電製品市場が堅調に推移したことから、LSIや磁気センサーが販売量を伸ばし、前期比増収、増益となった。

・電子材料事業

大幅な生産能力増強を行った感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」の拡販やプリント配線基板用ガラスクロス of 超極薄品の販売が好調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」の中国での能力増強(7月)
- ・世界初となる携帯電話用「3D空間検索技術」を共同開発(7月)
- ・台湾のペリクル販売会社営業開始(9月)
- ・富士の化合物半導体新工場の稼働開始(12月)
- ・世界最小・最薄の3軸電子コンパスを開発(3月)
- ・旭シュエーベル(株)、旭化成マイクロシステム(株)、旭化成電子(株)を旭化成エレクトロニクス(株)で一体運営するため組織を再編(07年4月)

<概況>

・建築・住宅資材事業

軽量気泡コンクリート「ヘーベルTM」が原燃料価格高騰の影響を受けたものの、固定費の削減と製品価格の改定に努め、前年比増収、増益となった。

・断熱材事業

高機能断熱材「ネオマTM フォーム」が新規ユーザーの開拓により販売量を伸ばし、前期比増収、増益となった。

・基礎事業

中小規模建築向けパイル工法の「EAZETTM」や「ATTコラムTM」の新規用途開拓が進んだことから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

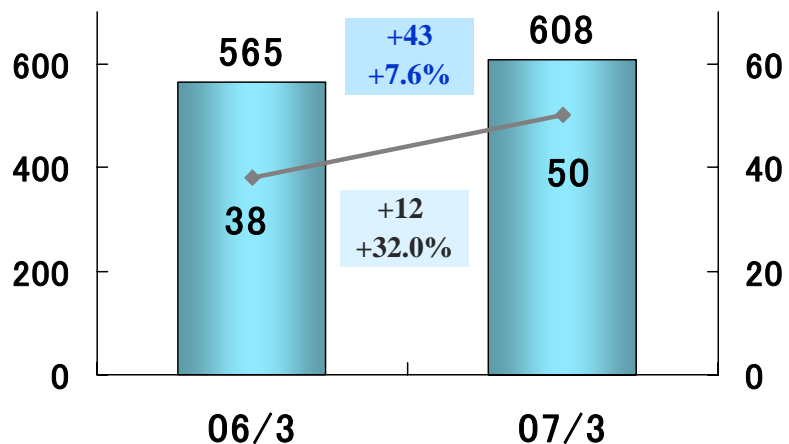
・低排土・高支持力杭工法「DYNAWINGTM」の本格展開開始（5月）

・鉄骨梁貫通孔補強鋼材「フリードーナツTM」を全国販売開始（9月）

・「ネオマTM フォーム」のCM放映を開始（10月）

（億円）

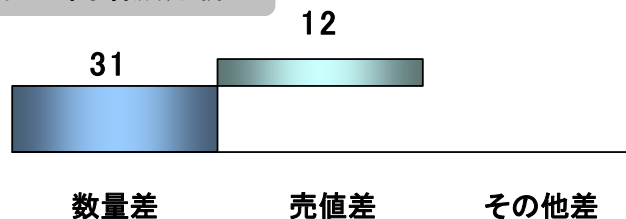
売上高



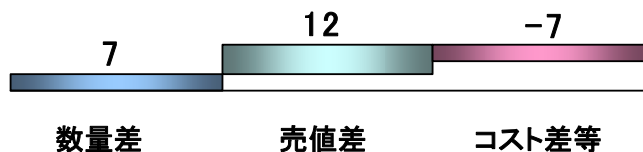
営業利益



売上高増減分析



営業利益増減分析



セグメント別設備投資額、減価償却費、研究開発費 **AsahiKASEI**

(億円)

	設備投資額			減価償却費			研究開発費		
	06/3	07/3	08/3(予)	06/3	07/3	08/3(予)	06/3	07/3	08/3(予)
ケミカルズ	266	426	435	313	319	790	148	156	600
ライフ&リビング	47	35		44	42		25	26	
ホームズ	36	27	85	24	24		15	16	
ファーマ	49	57	120	64	66		135	131	
せんい	54	64	75	53	53		21	31	
エレクトロニクス	150	162	170	121	134		97	103	
建材	23	23	30	31	30		8	8	
サービス・エンジニアリング等	10	8	15	7	7		1	0	
消去又は全社	28	43	50	37	42		65	53	
合計	663	844	980	694	716		790	515	

<06年度完工件名>

- ・(旭化成マイクロシステム)
微細プロセス設備投資
(05/4~06/5、延岡)
- ・(旭化成マイクロシステム)
LSI製造設備能力増強
(05/12~06/7、延岡)
- ・(旭化成エヌエスエネルギー)
火力発電設備新設
(05/1~06/7、延岡)
 - ・(旭化成電子材料(蘇州))
感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」
製造設備能力増強
(05/6~06/7、1億m²/年、中国)
- ・リチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポ
ア™」製造設備能力増強
(05/4~06/10、3,600万m²/年、守山)
 - ・精密ろ過膜「マイクロザ™」組立製造設備新設
(05/12~06/12、3万本/年、中国(杭州))
 - ・(韓国デラグラス)
拡散板生産設備新設
(06/1~06/12、4,000t/年、韓国)
 - ・(旭化成スパンデックスヨーロッパ)
「ロイカ™」技術を導入した生産設備整備、改良
(06/12、ドイツ)
 - ・(東西石油化学)
プロパン法アクリロニトリル製造プロセス導入
(05/08~07/1、韓国)

<06年度末時点 工事中件名>

- ・(旭化成スパンデックスアメリカ)
「ロイカ™」技術を導入した生産設備整備、改良
(07/5、米国)
 - ・(旭化成医療機器(杭州))
ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」組立製造設備能力増強
(06/4~07/5、約360万本/年、中国)
 - ・(旭化成精細化工(南通))
HDI系ポリイソシアネート「デュラネート™」製造設備新設
(06/4~07春、1万t/年、中国)
 - ・新不織布「プレシゼ™」製造設備新設
(07秋、2,000t/年、守山)
 - ・(旭化成メディカル)
ウィルス除去フィルター「プラノバ™」の製造設備能力増強
(06/9~07/10、20,000m²/年、延岡)
 - ・旭化成ホームズ住宅総合技術研究所の設立
(06/11~07/10、富士)
 - ・フォトマスク用防塵フィルムペリクルの製造設備能力増強
(07/1~07/11、延岡)
 - ・(A・Kメンブレン製造)
EVOH樹脂製中空糸膜の製造設備新設
(08/5、400万本/年、延岡)
 - ・水島地区における省エネ事業計画(石油残渣物を燃料とする
ボイラー設備新設)
(09/7、水島)
- : 投資額30億円以上

主要関係会社概況

会社名	07/3実績				08/3予想			
	売上高		営業利益		売上高		営業利益	
		前同比		前同比	前同比		前同比	
旭化成メディカル	431	増収	黒字	増益	増収	黒字	増益	
旭化成マイクロシステム	572	増収	黒字	増益	}	*		
旭化成電子	100~150	増収	黒字	増益				
旭シューエーベル	100~150	増収	黒字	増益				

○ 印 : 売上高(増減10億円以上)、利益(損益額5億円以上または増減5億円以上)

* : 2007年4月からのエレクトロニクス組織統合に伴い、当該3関係会社の営業・開発部門は旭化成エレクトロニクスへ移管・統合され、同3社は製造部門としての運営となる為、2008年3月期の売上高、営業利益の掲載は割愛した。

旭化成メディカル

(07年3月期実績) 生産能力を増強したポリスルホン膜人工腎臓「APSTM」や、ウイルス除去フィルター「プラノバTM」が販売量を伸ばしたことや、固定費削減に努めたことなどから、前期比増収、増益となった。

(08年3月期予想) 「APSTM」、「プラノバTM」の拡販などを図り、増収、増益を目指す。

旭化成マイクロシステム

(07年3月期実績) 後半顧客の在庫調整の影響を受けたが、携帯電話、デジタル家電向けなどの好調な需要を背景に、前期比増収、増益となった。

旭化成電子

(07年3月期実績) ホール素子は円安の影響と新規素子拡販により、ホールICは携帯電話向け拡販により前期比増収、増益となった。

旭シューエーベル(含む、旭シューエーベル台湾)

(07年3月期実績) 下期は在庫調整の影響を受けたが、高付加価値品の超極薄品の拡販などにより前期比増収、増益となった。

1. 売上高、受注高の状況

(単位: 億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他*	単独計	関係会社等	連結計	受注残
02	上期	1,393 (▲1.7%)	1,219 (▲15.8%)	65 (▲13.3%)	-	1,284 (▲15.7%)	196 (12.6%)	1,480 (▲12.8%)	2,733
	下期	1,500 (14.2%)	1,414 (▲2.4%)	102 (13.3%)	-	1,516 (▲1.5%)	210 (11.1%)	1,726 (▲0.1%)	2,820
	通期	2,893 (6.0%)	2,633 (▲9.1%)	167 (1.2%)	-	2,800 (▲8.6%)	406 (11.8%)	3,206 (▲6.4%)	
03	上期	1,614 (15.9%)	1,212 (▲0.6%)	52 (▲17.8%)	5	1,269 (▲1.3%)	209 (6.6%)	1,478 (▲0.1%)	3,222
	下期	1,567 (4.5%)	1,599 (13.1%)	308 (200.9%)	6	1,912 (26.0%)	223 (6.2%)	2,135 (23.7%)	3,190
	通期	3,181 (9.9%)	2,811 (6.8%)	360 (117.0%)	11	3,182 (13.5%)	431 (6.2%)	3,613 (12.7%)	
04	上期	1,531 (▲5.2%)	1,389 (14.6%)	66 (25.3%)	5	1,460 (15.0%)	213 (1.9%)	1,673 (13.2%)	3,332
	下期	1,487 (▲5.1%)	1,719 (7.5%)	136 (▲55.9%)	6	1,860 (▲2.8%)	225 (0.9%)	2,085 (▲2.3%)	3,101
	通期	3,018 (▲5.1%)	3,107 (10.6%)	201 (▲44.1%)	11	3,320 (4.3%)	438 (1.6%)	3,758 (4.0%)	
05	上期	1,504 (▲1.7%)	1,402 (0.9%)	205 (213.0%)	4	1,611 (10.4%)	243 (14.1%)	1,853 (10.8%)	3,204
	下期	1,629 (9.5%)	1,793 (4.3%)	131 (▲3.6%)	6	1,930 (3.8%)	261 (16.0%)	2,192 (5.1%)	3,040
	通期	3,133 (3.8%)	3,194 (2.8%)	336 (67.0%)	11	3,541 (6.7%)	504 (15.1%)	4,045 (7.7%)	
06	上期	1,561 (3.7%)	1,347 (▲3.9%)	60 (▲70.9%)	5	1,411 (▲12.4%)	280 (15.2%)	1,691 (▲8.7%)	3,253
	下期	1,473 (▲9.6%)	1,829 (2.0%)	230 (75.8%)	5	2,064 (6.9%)	302 (15.7%)	2,366 (7.9%)	2,898
	通期	3,034 (▲3.2%)	3,176 (▲0.6%)	289 (▲13.8%)	10	3,475 (▲1.9%)	582 (15.5%)	4,057 (0.3%)	
07予	通期	3,100 (2.2%)	3,170 (▲0.2%)	260 (▲10.2%)	10	3,440 (▲1.0%)	660 (13.4%)	4,100 (1.1%)	2,828

* 他: 損害保険販売手数料収入等

2. 2007年3月期用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建	低層	2,016	1.7%	7,646	-3.4%	1,884	-6.3%	6,614	-15.4%
	中層	836	-6.7%	3,160	-14.1%	740	-7.0%	2,663	-12.8%
	小計	2,852	-1.0%	10,806	-6.8%	2,624	-6.5%	9,277	-14.7%
集 合 系	低層	109	-7.6%	1,152	-1.4%	141	22.1%	1,447	17.9%
	中層	215	9.0%	2,206	13.8%	269	26.4%	2,472	12.5%
	小計	324	2.8%	3,358	8.1%	410	24.9%	3,919	14.5%
合計		3,176	-0.6%	14,164	-3.7%	3,034	-3.2%	13,196	-7.7%
分譲事業等		289	-13.8%	850	-12.1%	-	-	-	-
他*		10	-6.9%	-	-	-	-	-	-
合計		3,475	-1.9%	15,014	-4.2%	3,034	-3.2%	13,196	-7.7%
関係会社等		582	15.5%	-	-	-	-	-	-
総合計		4,057	0.3%	15,014	-4.2%	3,034	-3.2%	13,196	-7.7%

* 他: 損害保険販売手数料収入等

3. 2008年3月期用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数予想(受注は請負のみ)

(右欄:前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建	低層	2,023	0.3%	7,690	0.6%	1,935	2.7%	6,900	4.3%
	中層	819	-2.0%	3,270	3.5%	753	1.7%	2,690	1.0%
	小計	2,842	-0.4%	10,960	1.4%	2,687	2.4%	9,590	3.4%
集 合 系	低層	130	19.2%	1,340	16.3%	144	2.0%	1,470	1.6%
	中層	198	-7.6%	2,020	-8.4%	269	0.0%	2,560	3.6%
	小計	328	1.4%	3,360	0.1%	413	0.7%	4,030	2.8%
合計		3,170	-0.2%	14,320	1.1%	3,100	2.2%	13,620	3.2%
分譲事業等		260	-10.2%	730	-14.1%	-	-	-	-
他*		10	-0.9%	-	-	-	-	-	-
合計		3,440	-1.0%	15,050	0.2%	3,100	2.2%	13,620	3.2%
関係会社等		660	13.4%	-	-	-	-	-	-
総合計		4,100	1.0%	15,050	0.2%	3,100	2.2%	13,620	3.2%

* 他: 損害保険販売手数料収入等

4. 関係会社損益

(億円)

	06/3		07/3	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
旭化成リフォーム	222	18	257	23
旭化成不動産	264	15	302	18

<概況>

旭化成リフォーム

(07年3月期実績)

ユニットバスやキッチンなどのパック工事や防水・塗装を中心としたリフレッシュ工事が順調に増加しており、前期比増収、増益となった。

(08年3月期予想)

営業力の更なる強化、施工力の増強などを図り、増収、増益を目指す。

旭化成不動産

(07年3月期実績)

営業拠点数を増やすなど、積極的展開を行った結果、賃貸管理戸数を順調に伸ばし、空室率も改善したことなどから、前期比増収、増益となった

(08年3月期予想)

前期の好調な集合の受注を背景に、増収、増益を目指す。

1. ファーマセグメントの売上

(億円)

	06/3			07/3		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
医薬	247	238	485	248	259	507
その他	76	51	127	29	28	57
(単 独 計)	322	289	611	277	287	564
旭化成メディカル	190	211	401	210	220	431
その他	23	23	46	24	26	50
(連 結 計)	536	523	1,058	511	534	1,045

<主要医薬品の国内売上>

(億円)

	06/3			07/3		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
エルシトニン™	82	71	152	71	66	138
ブレディニン™	31	30	61	30	30	60
フリバス™	45	46	91	46	46	93
トレドミン™	31	31	62	30	31	60
エクサシン™	6	6	12	5	5	11
リカマイシン™	3	4	7	2	3	5
エ リ ル™	7	8	15	7	7	14

2. 製品説明

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型	共同開発会社
エルシトニン™注 20S エルシトニン™注 20Sディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤	—
ブレディニン™	ミゾリビン	免疫抑制剤	慢性関節リウマチ、腎移植、ネフローゼ症候群、ループス腎炎	錠剤	—
フリバス™	ナフトピジル	選択的 α 1ブロッカー	前立腺肥大に伴う排尿障害	錠剤	日本オルガノン
トレドミン™	塩酸ミルナシプ ラン	セロトニン・ノルアドレナリン再取込阻害剤(SNRI)	うつ病・うつ状態	錠剤	—
エクサシン™	硫酸イセパマイ シン	アミノグリコシド系抗生物質	感染症	注射剤	シェリングプラウ
リカマイシン™	ロキタマイシン	マクロライド系抗生物質	感染症	錠剤・ドライシロップ	—
エリル™	塩酸ファスジル	ローキナーゼ阻害剤	くも膜下出血術後の脳血管れん縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善	注射剤	—

3. 研究開発の状況

	品目	区分	剤名	適応症
申請中の品目	①ART-123注	新成分新薬	(抗血液凝固剤トロンボモジュリン)	DIC(播種性血管内血液凝固症候群) 帯状疱疹
	②AK-120錠	新成分新薬	(抗ウイルス剤)	
フェーズⅢの品目	①AT-877注	適応拡大	(ローキナーゼ阻害剤)	急性期脳血栓症
	②PTH注	適応拡大	(副甲状腺ホルモン)	骨粗鬆症
フェーズⅡの品目	①AT-877錠	剤形追加	(ローキナーゼ阻害剤)	狭心症
	②KT-611錠	適応拡大	(α 1ブロッカー)	神経因性膀胱

探索・基礎研究 世界に通用する新薬の創製を目指し、創薬基盤技術を拡充・整備しつつ、整形領域疾患にフォーカスを当てた新規物質の探索研究を鋭意行っている。

予想・見通しに関する注意事項

当資料に記載されている予想・見通しは、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。